

医療技術学科新聞

2016年
12月号

中四国臨床工学会

12月3、4日(土、日)に高知市文化プラザかるぼーにて第6回中四国臨床工学会が開催されました。9つの会場で一般演題や学生演題、ハンズオンセミナーや特別講座などを催していました。その中の学生演題にて、本学科の臨床工学専攻4年次6名、2年次1名が発表し、他の臨床工学校士養成校の学生も発表する中、3名がBPA(ベストプレゼンテーション賞)に選出され、最優秀賞を本専攻の石飛翔吾さんが受賞しました。今回は学会発表と最優秀賞を受賞した感想を聞いてみました。また、同じくBPAに選出された4年次の松浦拓哉さんと2年次の河野大輝さんにもインタビューしてみました。

●今回の「長時間透析におけるポンプセグメント部変化と流量特性に関する基礎検討」というテーマは卒業研究として共同研究していたものです。それをまとめたものを今回の学会で発表しました。11月に模試があったので準備や練習は11月の下旬から行いました。発表練習ではゼミの先生や仲間に見てもらい、より本番に近い形で練習しました。本番では昨年ゼミの先輩が奨励賞を取られていたので、それに続けるような何か賞を取りたいと思っていました。最優秀演題賞が取れた嬉しかったですし、取れたことによって次回発表するときの改善点やイメージを作りやすいと思いました。

●就職試験が控えており、発表の準備期間が短くなっただけで、ゼミの仲間の協力もあり前日に完成しました。発表用の原稿を作ってしまうと自分の言葉ではなくなってしまうと思います。原稿は作りませんでした。試行錯誤の毎日だったので、努力が実り大変嬉しかったです。就職した後にも臨床だけでなく研究を追及していく姿勢を崩さないようにしたいです。先輩には自分の研究を深めてもらい、臨床で活躍できる技術を発展させてほしいと思います。(松浦拓哉さん)

●今回の学会で、3名から大変貴重な話を聞くことが出来ました。BPAの最優秀賞は本学科の先輩方が2年連続で受賞しているので、私も先輩方に負けたくないような研究をしていきたいと思いました。(森山翔太)

世界エイズデー

12月1日(木)は世界エイズデーでした。世界エイズデーとは世界レベルでのエイズの蔓延防止と患者・感染者に対する差別・偏見を解消するためにWHO(世界保健機関)が制定したものです。本学では1号館1階においてパネル展示を行いました。パネル展示と並行して冊子の配布も行われており、より多くの人の目に届くようになっていました。また、世界エイズデーの一環としてエイズキャンペーンが12月3日(土)アリスガーデン付近でありました。にこれは広島県臨床検査技師会が主催しているものであり、避妊具を配布したり、無料でエイズ検査を実施しました。本学科からは藤垣先生と15名の学生が参加しました。今回は藤垣先生にこのキャンペーンについてインタビューをしました。



(写真) 12月3日に行われたエイズキャンペーンの様子

作者者(医療技術学科クラス委員)

今後の大学・学科の予定
1/5(木) 冬期休業終了
1/10(火) 後期授業再開
1/12(木) 金曜授業
1/13(金) 休講

比嘉千春(4年臨工)
久行菜帆(4年臨工)
青木麻友(4年臨検)
今朝丸麻希(4年臨検)
東原 諒(4年救急)
宮地彩花(4年救急)
水國あゆみ(3年臨工)
森元夏海(3年臨工)
百合野真由(3年臨工)
三澤英里子(3年臨検)
宮内 彩(3年臨検)
大畑泰斗(3年救急)
竹中佑介(2年臨工)
森山翔太(2年臨工)
斧幸一郎(2年臨検)
中澤歩美(2年臨検)
西沙智圭(2年臨検)
佐藤華絵(2年救急)
田中芹奈(2年救急)
小嶋元気(1年臨工)
和田実沙(1年臨工)
木嶋仁美(1年臨検)
坂下茉奈美(1年臨検)
平尾 怜(1年救急)
掛橋夢佳(1年救急)